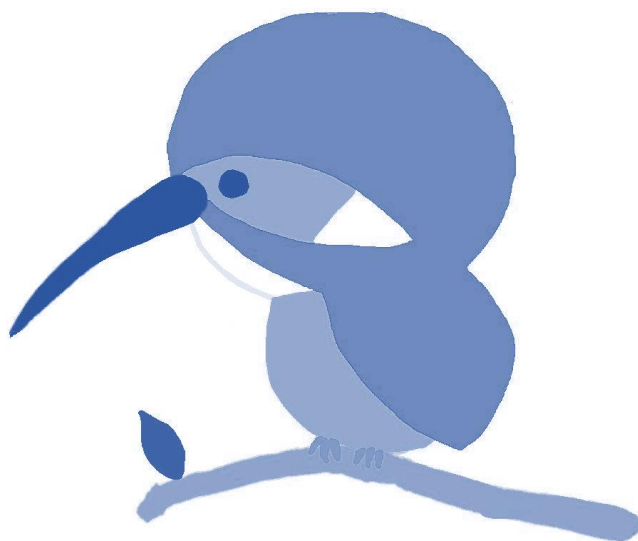


# ボランティア登録団体の運営状況に関する調査 集計結果(概要版)

## 調査概要

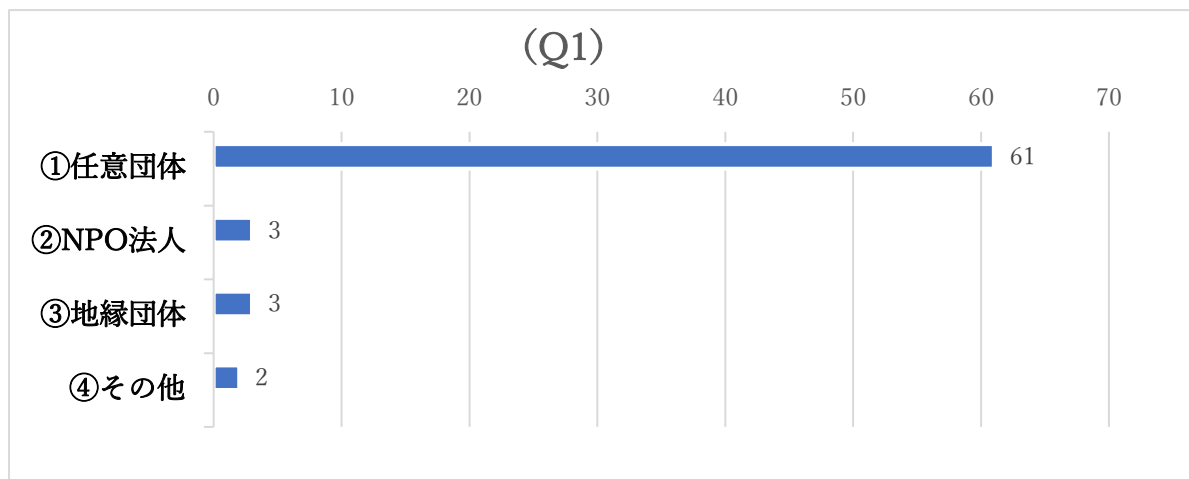
- 目的: ボランティア団体への活動支援策の検討材料として活用するとともに、広く周知することで、団体間の課題認識を深める
- 調査期間: 令和3年10月20日~11月17日
- 調査対象: 本会登録ボランティア団体 102 団体
- 回答数: 69 団体 (回収率 67.6%)
- 回答方法: アンケート用紙の提出又は google フォーム  
(用紙提出 44 団体/google フォーム 25 団体★インターネットからの返答率 36%)



日高市社協マスコット「かわせみくん」

社会福祉法人日高市社会福祉協議会  
日高市ボランティア・市民活動支援センター

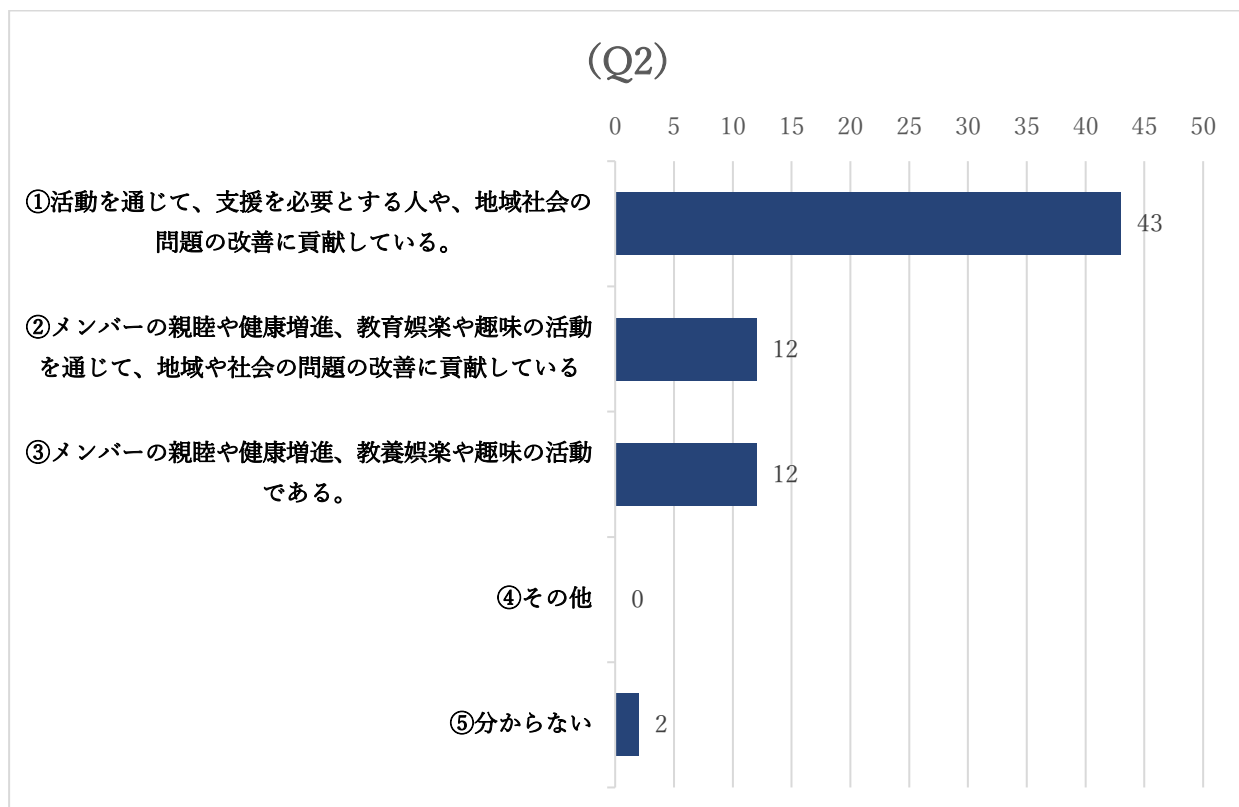
## Q1. あなたの団体種別について



### 《傾向》

- ・全体の 88%は任意団体（ボランティア団体）である。
- ・NPO 法人による登録は少なく、任意団体としての基盤が固いことが分かる。

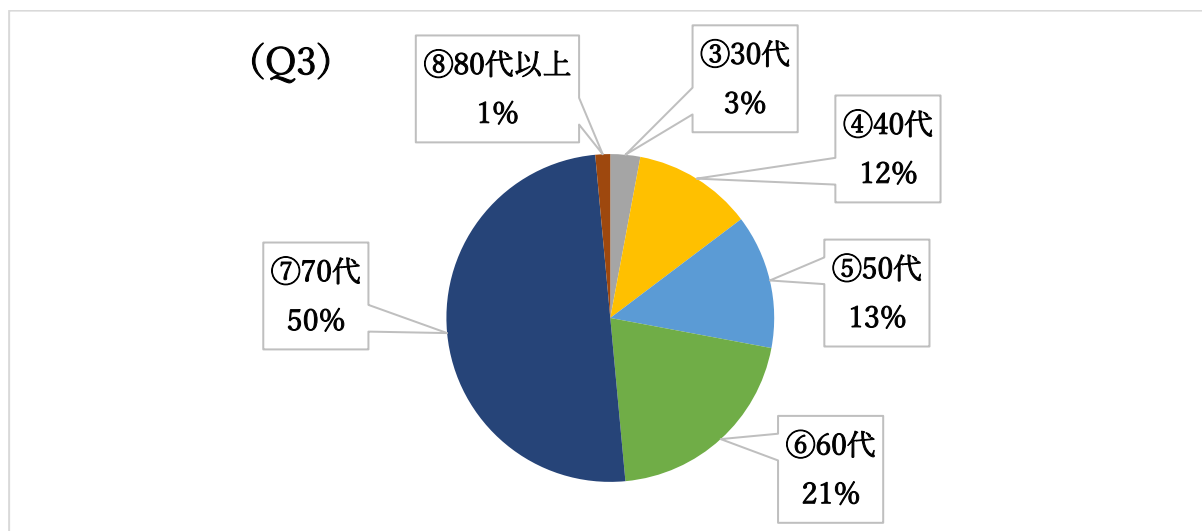
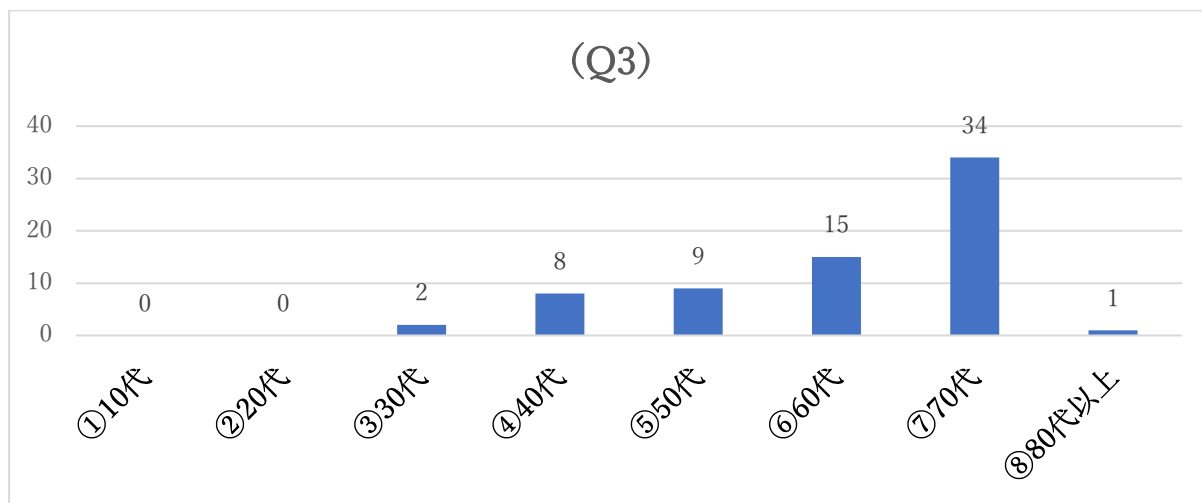
## Q2. あなたの団体の目的について、最も近いものはどれですか？



### 《傾向》

- ・地域社会の問題改善に貢献している認識が高い。全体の 79%(①と②)である。

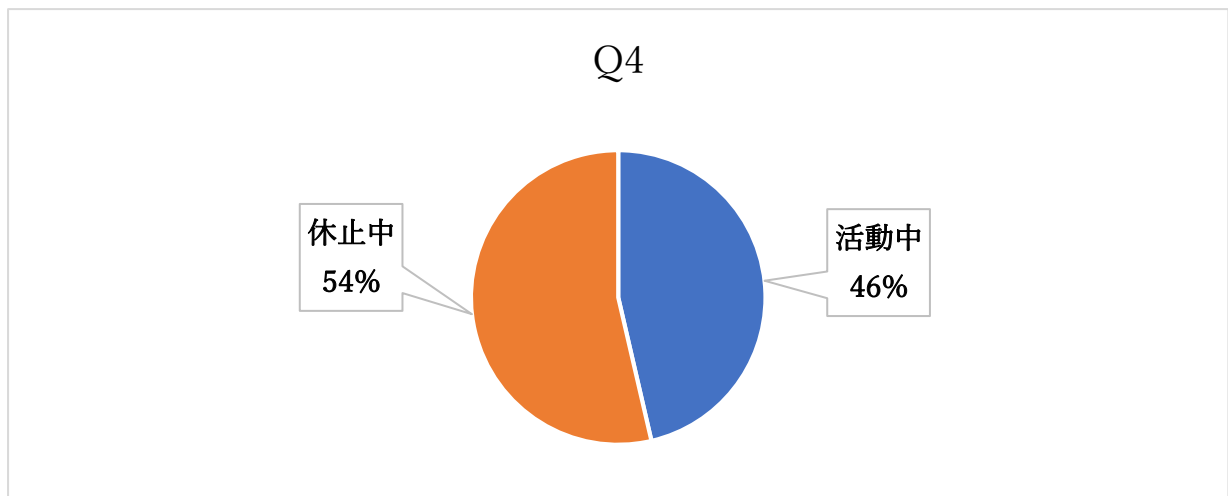
Q3. 会員の年齢層で最も多い年代層はどれですか？



《傾向》

- ・全体の50%は「⑦70代」が活動の中心となっている。
- ・「⑥60代」が「⑦70代」と比較して少ないため、今後ますます団体の高齢化が進む事が予想できる。
- ・30代や40代が中心となっている団体は子育て支援を主な活動としている団体であった。

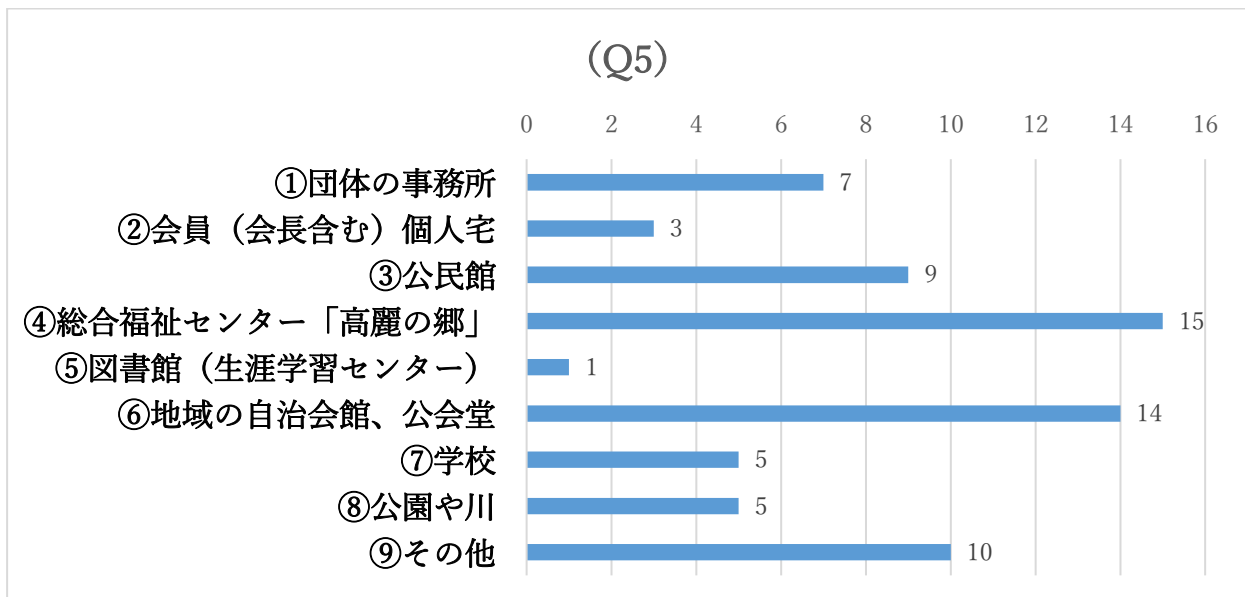
#### Q4. 団体の活動状況について



##### 《傾向》

- ・団体の半数以上は現在もコロナにより、休止の状況が継続している。
- ・休止中の団体は、サロン活動等の人が集う居場所づくり団体が多い。

#### Q5. 団体の主たる活動拠点について

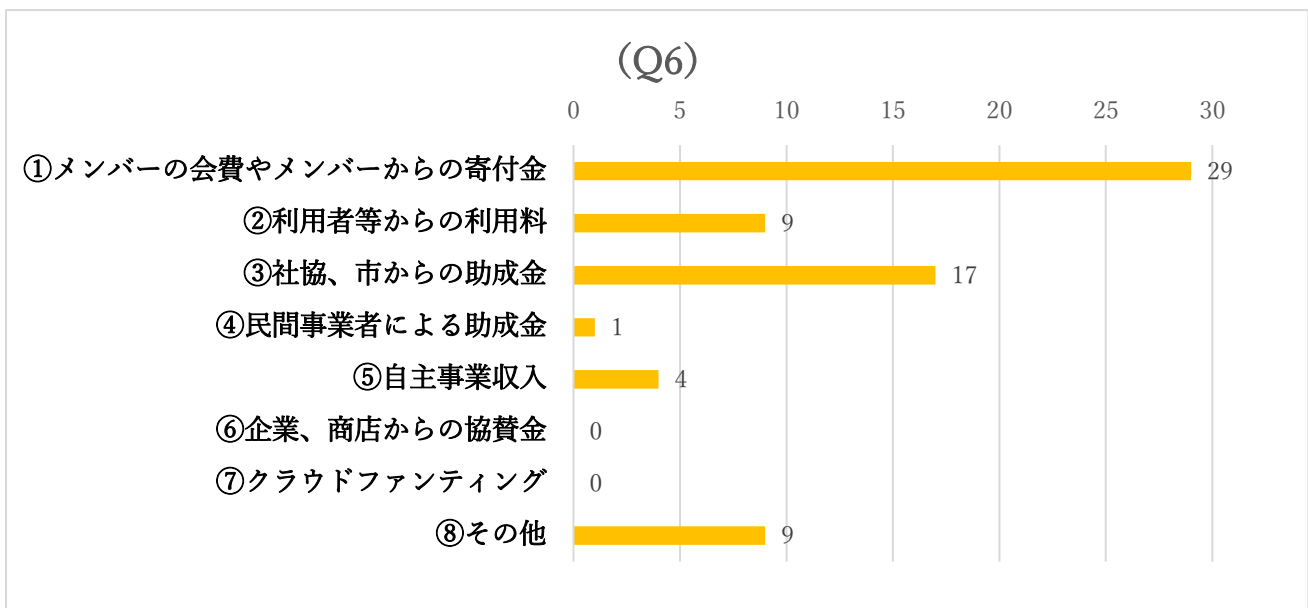


その他：病院（院内ボランティア）、相談者宅、依頼による

##### 《傾向》

- ・総合福祉センター「高麗の郷」の利用団体は多い。主に傾聴やガイドヘルプ等の市全域を対象として活動している団体が利用している傾向にある。
- ・サロン活動等の地域に根付いた活動は、対象となる地域住民が集まりやすい自治会館や公会堂の利用が多かった。

## Q6. 主な活動財源について

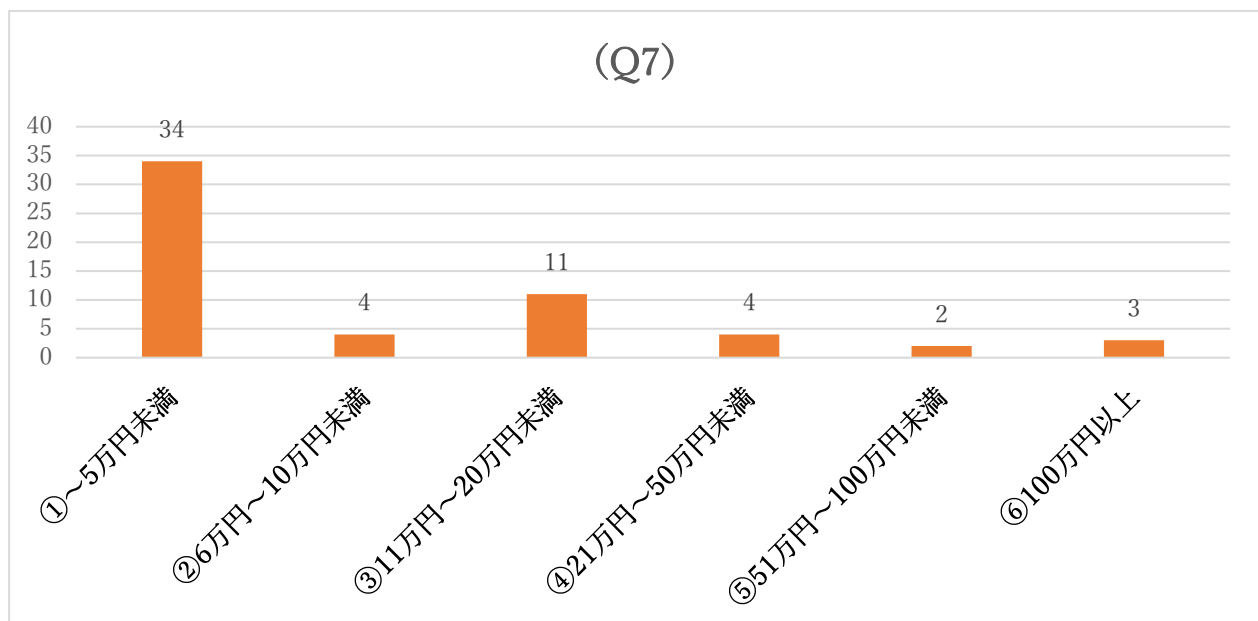


その他:財源不要

《傾向》

- ・メンバーからの会費が多く、活動財源の基盤になっている。
- ・利用者等からの利用料により活動財源を得ている団体は全体の13%程度であった。活動としては、サロン活動や地域食堂などの食事を提供する団体が中心である。

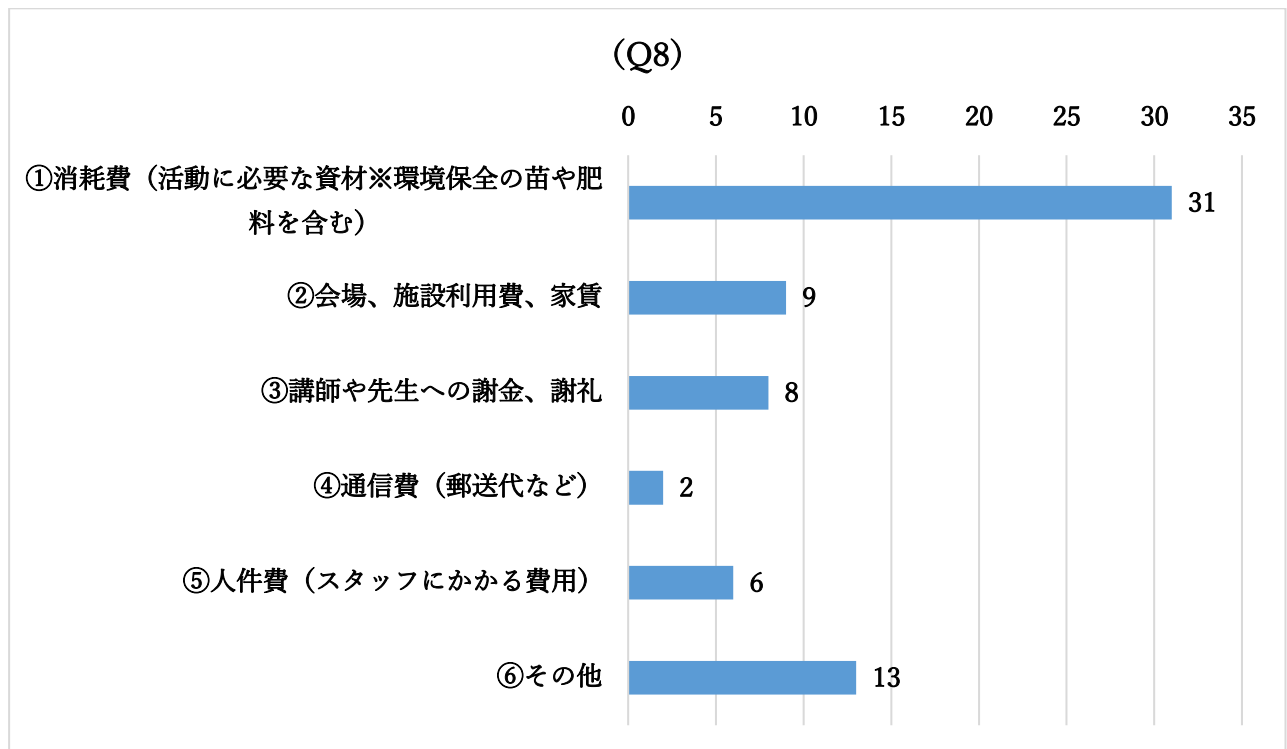
## Q7. 令和2年度の年間予算規模



《傾向》

- ・5万円未満の活動が中心であった。
- ・中には100万円規模の予算が動く団体もある。

## Q8. 経費負担として支出が一番多い項目について

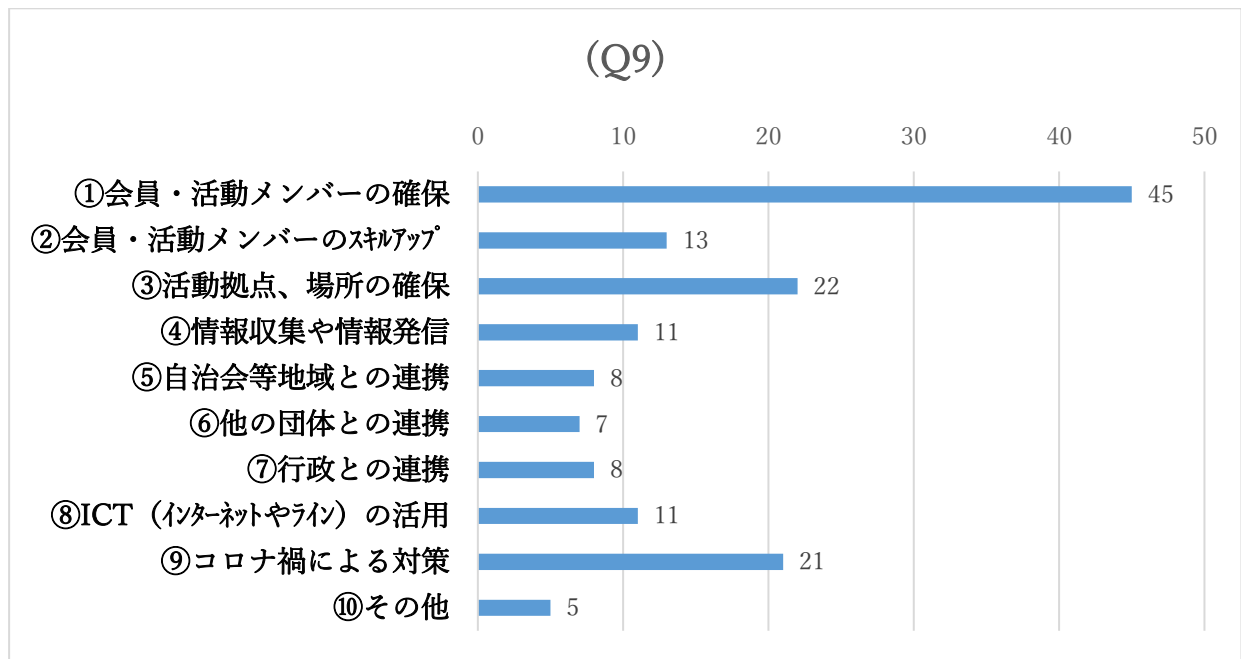


その他:なし多数、医療費(保護ねこ関係)

### 《傾向》

- ・最も多いのは、消耗費であり団体の維持継続に必要な経費であった。環境保全団体では、苗や肥料等で固定費用がかかるため、支出も多くなる傾向があった。
- ・他団体や協力者と活動を展開していくために、謝金や謝礼が主な支出となる団体も多い。

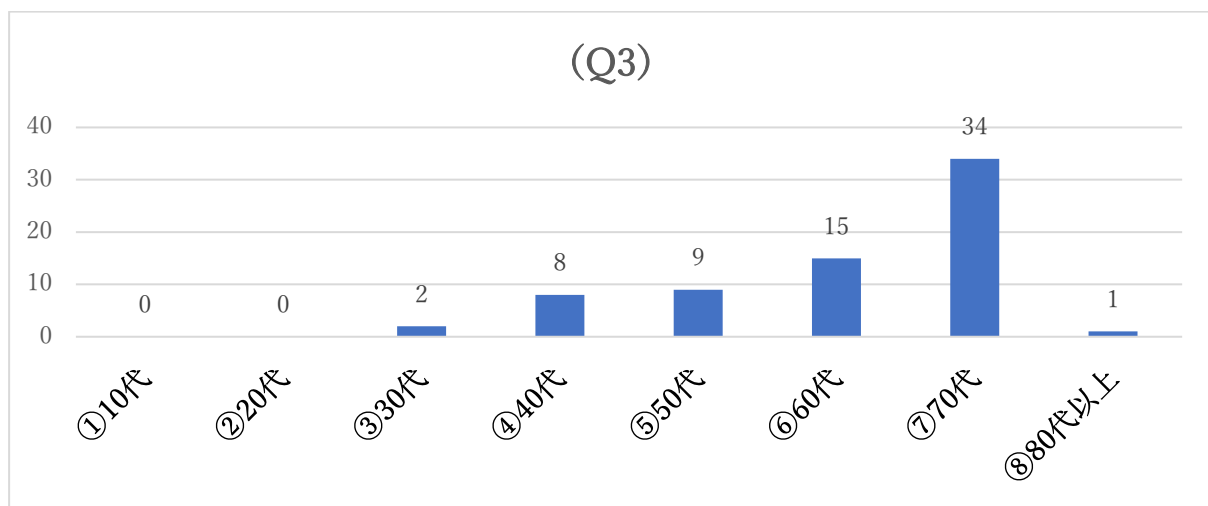
Q9. 団体の課題や困りごとについて(複数回答可)



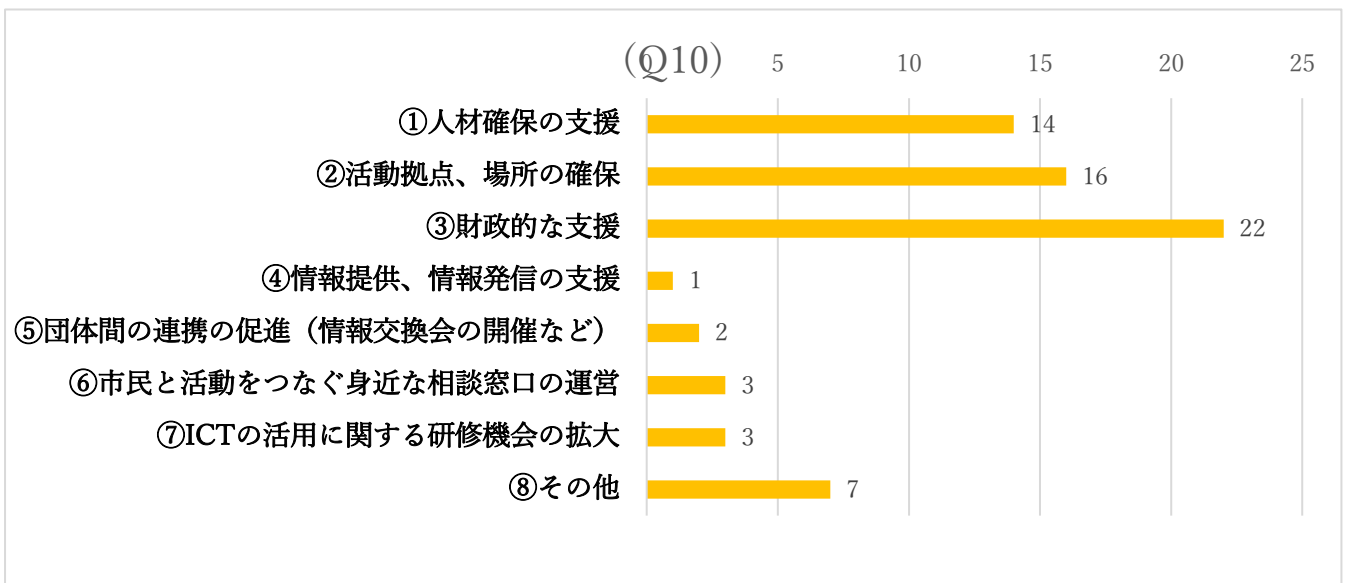
その他: 発表の場の確保、野良猫の問題

《傾向》

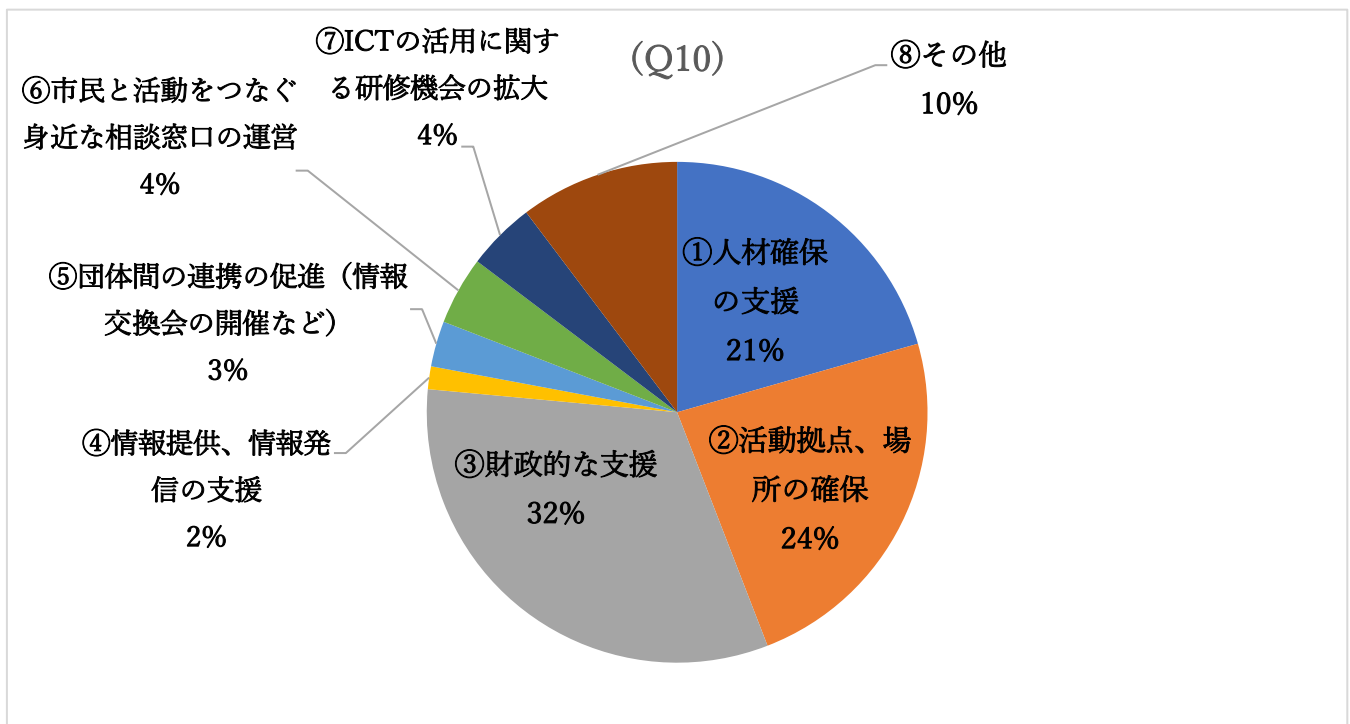
- ・ニーズが明確になっている。回答団体数 68 団体のうち、44 団体 (約 65%) がメンバーの確保に課題を感じており、担い手の不足が市全体としての大きな課題となっている。
- ・Q3 の主な年代層の間では、70 代が 34 団体と最も多く、今後ますます担い手の確保のニーズが高くなることが予想される。このことから、中間支援の必要性は高い。
- ・担い手確保以外では、活動拠点の確保が多く、全体の約 31%であった。



## Q10. 公的な支援として求めるものについて



その他:「なし」が多数。対象者が特殊なため、総合的に広い視野を持って支援いただきたい(精神保健福祉ボランティア)



### 《傾向》

- ・77%を占めるのが①人材確保の支援 ②活動拠点の支援 ③財政的な支援である。
- ・概ね、団体の困り事(Q9)と公的な支援に求めるものは重なる。
- ・①～③は団体の維持継続に必要な要素であり、④～⑦は基盤となる活動にプラスしていく部分の要素と考えることができる。その場合、団体の維持継続が課題として大きく、さらに工夫を加えていく余力がないと推察される。